連合エコライフ21の取り組み

連合群馬では、地球温暖化の防止ならびに地球環境の保全・回復に向けて「できることから、できるところから」を合言葉に、連合本部と一体となって「連合エコライフ21」の活動に取り組んでいます。「既に定着されている」と思われる方もいらっしゃるとは思いますが、持続可能な社会の実現に向け、一人ひとりの環境意識の醸成や、具体的な取り組みが求められており、中長期的な視点に立った取り組みを継続していくことが大切です。

エコライフ21で持続可能な社会を

ＳＴＥＰ１

先ずは労働組合の活動として、組合事務所や職場において冷暖房の温度設定、照明やＯＡ機器の使い方の工夫、紙やインクなどの資源のムダ遣いが無いか確認しましょう。ポイントは「仕事のやり方が環境面から見て問題ないのか」との視点を持つことです。

ＳＴＥＰ２

日本で排出されているCO_2の約半分は家庭から排出されていると言われており、年々増加する傾向にあります。ステップ２では、680万人の組合員一人ひとりとその家族が環境問題を話し合い、ライフスタイルの見直しを進め、さらにはエコライフ21の取り組みを国民全体へ拡げることを目指します。

ＳＴＥＰ３

エコライフ21の取り組みを労働組合の活動にとどめることなく、国民全体で取り組んでいくことを目指します。連合では「ライフスタイルを見直す環境会議」を設立し、地方自治体やなどと連携をはかりながら、日本各地でその取り組みを継続的に推進しています。

皆さん…実践してますか??

～環境に優しい10の生活～

	具体的取り組み
1	電化製品を上手に使って消費電力を削減しよう
2	電化製品の主電源を切って待機電力を削減しよう
3	水の蛇口はこまめに閉めよう
4	エコ通勤・エコドライブを心がけよう
5	ゴミは減量、再利用可能な資源を分別して有効利用しよう
6	マイエコバッグを持ち、省包装・簡易包装の商品を優先しよう
7	食品廃棄・ロスはできる限り減らそう
8	国産および身近な地域で作られた食品や製品を選ぼう
9	環境に配慮した製品を選択する「ユーズグリーン」を心掛けよう
10	紙や木材製品を買う時は国産材・間伐材のものを選ぼう

自動車保有台数の多い群馬県だからこそ…

～エコドライブの実践～

	具体的取り組み
1	ふんわりアクセル「ｅスタート」
2	車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
3	減速時は早めにアクセルを離そう
4	エアコンの使用は適切に
5	ムダなアイドリングはやめよう
6	渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
7	タイヤの空気圧から始める点検・整備
8	不要な荷物はおろそう
9	走行の妨げとなる駐車はやめよう
10	自分の燃費を把握しよう

また、家庭や職場での電力需給対策に関する取り組み「ピークカットアクション」への積極的な参加もお願いします。

特に・エアコン・照明・冷蔵庫は “効果大”

～安心して働きたい・暮らしたい⑩～【2016春季生活闘争について】

2016春季生活闘争は、「底上げ・底支え」「格差是正」の実現を通じて「デフレからの脱却」「経済の好循環実現」を目指す闘争である。「総合生活改善闘争」としてすべての働く者が直面している課題の解決をはかるだけでなく、日本の長期的な社会・経済構造変化を見据えてそれに対応していく契機としなければならない。春季生活闘争が果たしてきた日本全体の賃金決定メカニズムは活かしつつ、その則をあえて越える挑戦が求められている。

今次春闘は、『すべての働く者の処遇改善！「底上げ・底支え」「格差是正」で経済の好循環を実現！』をスローガンに、４つのキーワード、①「持続性」では昨年、一昨年と一定の成果を踏まえ継続させる、②あくまでも「月例賃金」にこだわった闘争、③多くの組織に「広がり」を持たす、④とどのつまり「底上げ」をはかる。そうすることで、経済を好循環させ、デフレからの脱却をはかる取り組みを進める。

すでに、各労組が要求を組み立て、第1次先行組合（大手組合）は妥結がなされ、多くの組合が3年連続となる月例賃金の改善原資を獲得し、要求に対し加重平均6，341円の結果が示された。

しかし、日本企業の多くは中小企業であり、中小企業の賃上げなくして「底上げ・底支え」「格差是正」は改善されない。加えて、連合の役割として非正規労働者の処遇改善にも取り組む必要がある。

３月25日には中小労組支援として、中小労組春闘決起集会を高崎の地にて実施をする。

これからも連合群馬が一体となって、「すべての県民が安心して暮らせる地域社会」の実現に向け、広く世論に訴えていこう。

（金子）